

ふりがな補完機能仕様書

本書は、日本語入力(IME)時の、ふりがな補完を行うために、必要な基本機能について記載する。ふりがな補完とは、テキストボックスに入力された文字列の振り仮名を取得する機能である。

基本機能

- 入力されたキー情報をバッファリングすることにより、ふりがな補完機能を実装する。
- バッファリングは、IME が On のときの、キー入力に対してのみ有効とする。
- バッファリングするキー情報は、文字として表示可能なキー入力に限定する。すなわち、【Tab】キーなどの制御コードは、バッファリングしない仕様とする。
- ある一区切りの入力されたキー情報に対する変換テーブルをあらかじめ用意しておき、一区切りの入力情報をキーに、補完文字を検索することにより、ふりがな補完機能を実装する。
- ある一区切りとは、母音が入力されるまでのキーバッファ、記号の場合は、単一入力を一区切りとする。
- ~~【Enter】キーによる IME 確定処理に同期して、振り仮名を取得する仕様とする。~~
- ~~【Ctrl】+【M】キーによる IME 確定処理に同期して、振り仮名を取得する仕様とする。~~
- ~~【Shift】+【↓】キーによる IME 確定処理に同期して、振り仮名を取得する仕様とする。変換文字列の部分確定は出来ない仕様である。~~
- ~~IME 利用時、【SP】キーにより日本語変換を行い、その直後にキー入力を行うと自動確定されるが、そのタイミングにも同期して、振り仮名を取得する。~~
- **上記の 4 点仕様変更 2022/05/01、ユーザのキー入力に同期して、振り仮名を取得する仕様に変更。**
- 【ESC】キーによる IME 変換処理のキャンセルに対応するものとする。
- 平仮名、カタカナのいずれでも、補完できる仕様とする。
- 平仮名補完の場合、“ ヴィ”【V→I】や“ ヴェ”【V→E】などは、“ ヴ”に対応する平仮名が存在しないため、“ ヴィ”、“ ヴェ”とカタカナ・平仮名交じりで補完するものとする。
- 平仮名・片仮名補完いずれの場合も、キー入力【L→K→A】と【L→K→E】に対する補完文字は、“カ”、“ケ”とする。
- ハイフン(-)キーで入力された文字は全て、カタカナの“ ー”で補完する仕様とする。
- 英字の入力については、すべて小文字の半角英字として補完する仕様とする。
- 記号の入力については、すべて半角記号として補完する仕様とする。

制限事項

- IME を使用中に、その画面がフォーカスを失った場合、本機能は使用できません。
- IME で変換中に**変換された文字列**を【BS】キーや【Delete】キーにより、文字削除した場合は、正しく補完できません。

(例) IME:月光仮面 【BS】を押す。 → IME:月光仮

【BS】を押すと“ 面”の一文字が削除されますが、“面”という一文字がいくつかのバッファを変換したものか、判定できないため、対応できません。

- MS 製の IME 以外での動作は保証していません。